

平成24年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年2月10日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 エーワン精密

コード番号 6156 URL <http://www.a-one-seimitsu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 哲也

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 哲也

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 042-363-1039

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年6月期第2四半期の業績(平成23年7月1日～平成23年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年6月期第2四半期	918	3.6	236	△1.6	256	1.2	142	△4.0
23年6月期第2四半期	886	35.2	239	140.5	253	130.5	148	133.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年6月期第2四半期	9,498.17	—
23年6月期第2四半期	9,892.97	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年6月期第2四半期	7,137	6,690	93.7
23年6月期	7,335	6,724	91.7

(参考) 自己資本 24年6月期第2四半期 6,690百万円 23年6月期 6,724百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年6月期	—	0.00	—	6,500.00	6,500.00
24年6月期	—	0.00	—	—	—
24年6月期(予想)	—	—	—	7,000.00	7,000.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年6月期の業績予想(平成23年7月1日～平成24年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,950	7.8	529	7.4	557	8.1	317	5.2	21,184.05

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年6月期2Q	15,000 株	23年6月期	15,000 株
----------	----------	--------	----------

② 期末自己株式数

24年6月期2Q	— 株	23年6月期	— 株
----------	-----	--------	-----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年6月期2Q	15,000 株	23年6月期2Q	15,000 株
----------	----------	----------	----------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(7) 重要な後発事象	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済状況は、世界的に見て景気減速要因などがありましたが、比較的堅調に推移してまいりました。東日本大震災による生産活動への影響から立ち直り、減産分を取り戻すため増産体制を敷く企業が増えたことと、タイの洪水により現地生産設備が影響を受け、一部で部品調達が困難になるケースはありましたが、逆に新規の機械・設備の発注や日本での代替生産などがあり、日本国内での生産活動は一定水準を維持しました。

一方、南欧で複数の国が財政危機に瀕してユーロ全体が金融面で不安を抱え、米国も景気状態が不安定となり、中国も過熱した景気調整で金融引き締めを行うなど新興国を含めて世界的に景気不透明感が増してきています。国内製造業は現時点では堅調に推移してきていますが、今後は影響が出てくるものが想定されます。

このような状況の中、コレットチャック部門では、国内の量産加工メーカーが増産傾向を示したことから、当部門の受注も緩やかながら増加傾向となりました。ここ数年、国内生産においては比較的難易度の高い加工を行う傾向がさらに強まってきていて、コレットチャックの受注も顧客ごとのオーダー品が増加しています。この結果、当部門の第2四半期累計期間の売上高は647,139千円（前年同期比0.4%増）、セグメント利益は324,368千円（前年同期比0.9%減）となりました。

切削工具部門では、量産加工が堅調に推移したことと、タイの洪水により機械・設備需要が生じたこと、昨年末にかけて単品加工がある程度まとまってあったことなどにより、国内製造業の機械稼働率が上がり、再研磨の受注も一定水準を確保しました。この結果、当部門の第2四半期累計期間の売上高は244,016千円（前年同期比15.8%増）、セグメント利益は46,862千円（前年同期比6.1%減）となりました。

自動旋盤用カム部門では、国内に現存するカム式旋盤の台数が限定されていることで量産加工に係わる工具ではありますが、国内外のユーザーからの受注は限定されたものとなりました。この結果、当部門の第2四半期累計期間の売上高は27,005千円（前年同期比12.2%減）、セグメント利益は11,018千円（前年同期比0.8%増）となりました。

この結果、全社の当第2四半期累計期間の売上高は918,161千円（前年同期比3.6%増）、営業利益は236,109千円（前年同期比1.6%減）、経常利益は256,171千円（対前年同期比1.2%増）、四半期純利益は142,472千円（前年同期比4.0%減）となりました。

セグメント別の売上は、以下のとおりであります。 (%表示は対前年同期比)

事業部門別	期別		第22期 第2四半期		第21期	
	第21期 (自平成22年7月1日 至平成22年12月31日)	第2四半期 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)	第22期 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)	第2四半期 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)	第21期 (自平成22年7月1日 至平成23年6月30日)	第2四半期 (自平成22年10月1日 至平成23年6月30日)
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
コレットチャック部門	644	(135.8)	647	(100.4)	1,297	(116.3)
切削工具部門	210	(139.9)	244	(115.8)	449	(132.4)
自動旋盤用カム部門	30	(102.3)	27	(87.8)	61	(96.5)
合計	886	(135.2)	918	(103.6)	1,808	(119.1)

(2) 財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産の残高は、3,898,424千円(前事業年度末は4,217,872千円)となり319,448千円の減少となりました。これは、仕掛品が11,345千円増加しましたが、現金及び預金が306,728千円、受取手形及び売掛金が18,539千円、繰延税金資産が10,479千円減少したこと等によるものであります。また、当第2四半期会計期間末における固定資産の残高は、3,238,591千円(前事業年度末は3,118,038千円)となり120,553千円の増加となりました。これは、投資有価証券が107,181千円、繰延税金資産が69,628千円減少しましたが、機械装置及び運搬具が333,939千円増加したこと等によるものであります。

この結果、当第2四半期会計期間末における総資産は7,137,016千円(前事業年度末は7,335,911千円)となりました。

(負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債の残高は、110,741千円(前事業年度末は272,108千円)となり161,367千円の減少となりました。これは、主に未払法人税等が138,347千円、未払金が22,968千円減少したこと等によるものであります。また、当第2四半期会計期間末における固定負債の残高は、335,682千円(前事業年度末は339,192千円)となり3,510千円の減少となりました。これは、役員退職慰労引当金が3,520千円増加しましたが、退職給付引当金が7,030千円減少したことによるものであります。

この結果、当第2四半期会計期間末における負債合計は446,424千円(前事業年度末は611,300千円)となりました。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産の残高は、6,690,591千円(前事業年度末は6,724,610千円)となり34,019千円の減少となりました。これは利益剰余金が44,973千円増加しましたが、その他有価証券評価差額金が78,991千円減少したことによるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物は、前事業年度と比べ7,158千円減少し、1,153,362千円となりました。なお、当第2四半期累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは223,967千円の増加(前年同四半期は301,481千円増加)となりました。これは法人税等の支払額が138,521千円、未払金の減少額が22,750千円、たな卸資産の増加額が11,896千円ありましたが、税引前四半期純利益が256,148千円、減価償却費が132,904千円、売上債権の減少額が18,539千円あったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは133,568千円の減少(前年同四半期は242,931千円減少)となりました。これは定期預金の純減額が299,569千円ありましたが、有形固定資産の取得による支出が427,441千円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは97,557千円の減少(前年同四半期は89,822千円減少)となりました。これは全額、配当金の支払額によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

第2四半期累計期間及び通期の見通しにつきましては、当第2四半期累計期間の状況を踏まえて、前回発表予想を下回る見込みとなったため、平成24年2月3日に「業績予想の修正に関するお知らせ」を公表いたしました。詳細につきましては、「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年6月30日)	当第2四半期会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,597,488	3,290,760
受取手形及び売掛金	415,091	396,552
製品	6,082	6,897
原材料	30,981	30,718
仕掛品	147,657	159,002
前渡金	350	—
繰延税金資産	24,609	14,130
その他	1,722	5,973
貸倒引当金	△6,110	△5,610
流動資産合計	4,217,872	3,898,424
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	732,130	703,958
機械装置及び運搬具(純額)	529,150	863,089
土地	319,337	319,337
その他(純額)	20,366	9,545
有形固定資産合計	1,600,985	1,895,930
無形固定資産	2,094	4,810
投資その他の資産		
投資有価証券	1,328,713	1,221,532
繰延税金資産	184,593	114,965
その他	4,665	4,747
貸倒引当金	△3,014	△3,395
投資その他の資産合計	1,514,959	1,337,850
固定資産合計	3,118,038	3,238,591
資産合計	7,335,911	7,137,016
負債の部		
流動負債		
買掛金	16,204	14,756
未払金	77,382	54,414
未払法人税等	141,884	3,537
役員賞与引当金	8,850	4,390
その他	27,787	33,642
流動負債合計	272,108	110,741
固定負債		
退職給付引当金	302,542	295,512
役員退職慰労引当金	36,650	40,170
固定負債合計	339,192	335,682

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年6月30日)	当第2四半期会計期間 (平成23年12月31日)
負債合計	611,300	446,424
純資産の部		
株主資本		
資本金	292,500	292,500
資本剰余金	337,400	337,400
利益剰余金	6,191,145	6,236,118
株主資本合計	6,821,045	6,866,018
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△96,435	△175,426
評価・換算差額等合計	△96,435	△175,426
純資産合計	6,724,610	6,690,591
負債純資産合計	7,335,911	7,137,016

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)
売上高	886,148	918,161
売上原価	503,147	540,787
売上総利益	383,001	377,373
販売費及び一般管理費	143,076	141,264
営業利益	239,924	236,109
営業外収益		
受取利息	1,039	615
有価証券利息	3,438	371
受取配当金	7,954	7,988
補助金収入	—	10,000
その他	748	1,085
営業外収益合計	13,180	20,062
経常利益	253,105	256,171
特別損失		
有形固定資産除却損	—	22
特別損失合計	—	22
税引前四半期純利益	253,105	256,148
法人税、住民税及び事業税	105,000	2,600
法人税等調整額	△289	111,076
法人税等合計	104,711	113,676
四半期純利益	148,394	142,472

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	253,105	256,148
減価償却費	104,406	132,904
長期前払費用償却額	30	30
有形固定資産除却損	—	22
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△25	△119
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,440	△4,460
退職給付引当金の増減額(△は減少)	10,863	△7,029
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3,890	3,520
受取利息及び受取配当金	△12,432	△8,976
売上債権の増減額(△は増加)	21,304	18,539
たな卸資産の増減額(△は増加)	10,265	△11,896
仕入債務の増減額(△は減少)	105	△1,447
未払金の増減額(△は減少)	34,738	△22,750
その他	19,394	△1,286
小計	444,204	353,198
利息及び配当金の受取額	16,401	9,290
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△159,124	△138,521
営業活動によるキャッシュ・フロー	301,481	223,967
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	△202,034	299,569
有価証券の取得による支出	△2,746	△2,779
有形固定資産の取得による支出	△38,580	△427,441
無形固定資産の取得による支出	△380	△3,307
貸付金の回収による収入	810	390
投資活動によるキャッシュ・フロー	△242,931	△133,568
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△89,822	△97,557
財務活動によるキャッシュ・フロー	△89,822	△97,557
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△31,272	△7,158
現金及び現金同等物の期首残高	1,320,994	1,160,521
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,289,721	1,153,362

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

1. 前第2四半期累計期間(自 平成22年7月1日 至 平成22年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期損益計 算書計上額 (注)2
	コレット チャック部門	切削工具部門	自動旋盤用 カム部門	計		
売上高						
外部顧客への売上高	644,694	210,712	30,741	886,148	—	886,148
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	644,694	210,712	30,741	886,148	—	886,148
セグメント利益	327,297	49,894	10,927	388,120	△148,195	239,924

(注)1 セグメント利益の調整額は、製造部門共通費△5,118千円と主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 当第2四半期累計期間(自 平成23年7月1日 至 平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期損益計 算書計上額 (注)2
	コレット チャック部門	切削工具部門	自動旋盤用 カム部門	計		
売上高						
外部顧客への売上高	647,139	244,016	27,005	918,161	—	918,161
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	647,139	244,016	27,005	918,161	—	918,161
セグメント利益	324,368	46,862	11,018	382,248	△146,139	236,109

(注)1 セグメント利益の調整額は、製造部門共通費△4,875千円と主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。